

# 音楽科部会

**研究主題** 豊かな感性をもち、喜んで音楽活動に取り組もうとする子どもを育てる指導

## 1 主題について

今年度は、昨年度の課題であった「イメージを豊かにもたせるための手立て」について、更に研究し深めたいと考え、「音楽づくり」の授業を設定し研修した。

## 2 今年度の取組

月 日	実践内容	月 日	実践内容
4月12日	第1回総合研究会 研究主題設定・年間計画作成	8月20日	第1回指導案検討会 総合研究会の指導案について検討
10月31日	第2回総合研究会 授業研究会（雪沢小学校）	11月予定	授業交流会（有浦小学校）

## 3 研究内容

### (1) 授業研究

- ・期 日 平成24年10月31日（水）
- ・会 場 雪沢小学校
- ・題材名 1・2年音楽「おまつりのリズムを作ろう」
- ・授業者 花田 千鶴

#### ① 授業者から

- ・子どもたちのアンケートを基に、意欲をもって取り組めそうな「音楽づくり」の授業を設定した。第1次に雪沢小の4～6年生がたたいている「鹿島太鼓」や、神明社祭典のVTRなどを活用して「お祭り」のイメージをもてるようにした。
- ・題材の最初は本時も使用した色つきリズムカードを用いて、手拍子でリズムを練習した。子どもたちは学習が進むに連れて、手拍子でのリズム打ちが上達していった。
- ・今日は一人8小節のリズム作りに取り組んだが、時間的な余裕がなく、低学年には難しかったかもしれない。



【どっちのリズムにしようかな・・・】

#### ② 協議

- ・子どもが自信をもって、自分が表現したい音楽に取り組んでいた。迷いなく進んでいく子どもの姿に、一人一人が大事に育てられている雪沢小学校ならではのよさを感じられた。
- ・手拍子ではリズムを打てるが、バチでリズムを打つことは、1・2年生には難しかった。
- ・板書資料は、子どもの集中力を高めるために少しずつ出す、という方法もよいと思う。
- ・子どもたちは基礎的なリズムを打つことが出来ており、1年生でもリズム譜に「タタン」と正しく書き込めていた。指導の積み重ねを感じられた。
- ・自分の演奏部分が終わると満足してしまい、友達との関わりが薄くなってしまいう場面があった。友達が太鼓をたたいているときは歌ってあげるなどすればよかった。
- ・「おまつり」のにぎやかさはどのリズムで表現できるのか、いろいろなリズムを比較してみてはどうだったか。また、つくった音楽のどの部分が「にぎやかさ」につながるのかをグループ内でお互いに確認する場があってもよかった。

## (2) テーマ研究《各学校の実践紹介》

- ・リコーダーの導入教材曲集「笛星人」の紹介。一つの音だけでも曲が演奏でき、基礎を楽しみながら学べる曲集。挿絵一つにも工夫や意味があり、本質を理解して使うことが大切である。
- ・リコーダーの学習に生かせる「指番号カード」の紹介。授業で継続して使っていくうちに、指を確認しなくても反射的に指づかいが出来るようになっていく、効果的な指導方法である。
- ・1年生に「拍」の流れを感じとらせる実践の紹介。電子オルガンで拍子音を流し、それに合わせてリズム問答する活動や、上手に拍に乗れるとみんなのリコーダーになれる活動など、子どもが楽しみながら音楽の力を付けていく実践例である。
- ・よりよい「音楽」をつくるために、同じ曲を二つの演奏の仕方でも聞かせ、比較する活動を取り入れた実践。曲のイメージを広げることににつながる鑑賞方法である。



【1年生グループが作った音楽を演奏】

## (3) 指導助言（小林 秀雄 指導主事）

## ① 授業について

- ・授業の準備がすばらしかった。板書が構造的であり、子どもたちが学習を進めていく上で必要な情報がしっかり示されていた。
- ・リズムカードが個々にきちんと準備されており、一人一人が使いやすいように配慮されている。
- ・太鼓や半てんが用意されていることも、子どものモチベーションを高め、お祭りのイメージをもたせることにつながっていた。
- ・6種類のリズムを使って「音楽づくり」を指導する場合、楽譜を「横の流れでどう組み合わせるか」ということと「段の流れ（全体の構造）をどう見るか」という二つの見方で考える必要があった。
- ・ここまでの学習の間に1時間「鑑賞」を入れて、「反復のもつよさ」を聴いてとらえさせ、それを本時に生かせればよかった。

## ② 音楽づくりについて

- ・子どもの発想を引き出すために音楽的な約束事を場面場面で設定する。ねらいに合わせてその約束や条件を設定することが大事であり、つくったものをお互いに聴き合って「どれがいいか」を考えさせる。教師自身が明確にねらいに即した条件をもたなければ子どもが迷ってしまいねらいを達成できなくなる。
- ・音楽づくりと鑑賞は密接に関わっている。題材の中で何を指導するか教師が意図し、授業の中で価値付けを意識しながら支援の言葉かけをすることが大切である。

## 4 成果と課題

## (1) 成果

- ・道具の準備や教材の工夫など、学習意欲を高める手立てが充実していたことにより、子どもが主体的に学習に向かうことができていた。「音楽づくり」の学習では子どものイメージを引き出すために、ねらいに沿った約束や条件が重要であることを共通理解できた。

## (2) 課題

- ・「音楽づくり」の学習（表現）と鑑賞との関連の図り方